

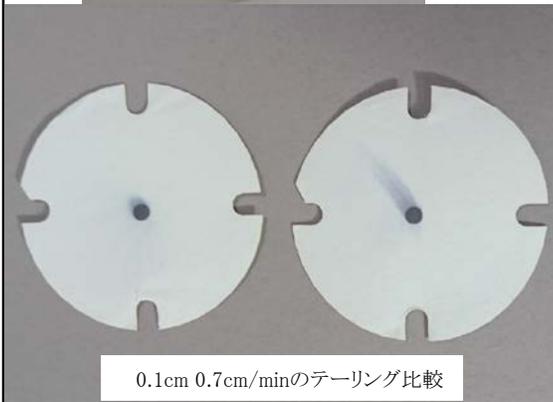
大起理化工業(株)のカタログより



本体  
写真



①ペーパー・スポンジをセットし、方位を確かめ  
井戸のストレーナ区間に設置



0.1cm 0.7cm/minのテーリング比較



テーリング読取り定規

②一定時間静止し引き上げる。ペーパーに発生した尾引き(テーリング)の長さや方位を  
専用定規で読み取り流向流速に変換

## ペーパーディスク型簡易地下水流向流速計

【発明の名称】「地下水流向流速を測定する方法及びそのための装置」

【出願人】国立大学法人山口大学

【発明者】山口大学大学院創成科学研究科 准教授 山本 浩一  
野田 敏雄

【実施先】大起理化工業株式会社 <https://www.daiki.co.jp/>  
ご注文・お問合せは、048-568-2500へお電話下さい。

### 【概要】

電源を使用せずに地下水の流向流速を測定することができる装置であり、ペーパーディスクを透水性スポンジで挟み、地下水観測井のストレーナ付近に一定時間静置することで染料の流れた方向を流向、静置した時間とインクが流れた長さから地下水流の流速を測定するものである。

### 【特徴】

- 取扱いに専門知識や熟練が不要
- 電源不要で機械部がなく軽量、山間部や遠隔地、海外での運用も容易
- 従来の熱量式地下水流向流速計と同程度の測定範囲(0.03 ~ 1.0cm/min)を実現
- ディスク上に発生したテーリングを肉眼で読み取り、現地で流向流速を測定可能
- センサーを挿入してから、すぐに測定開始するので短時間(5分~60分)で測定可能
- 筐体のサイズは、VP50用とVP65用の2種類で現地適用試験済み
- 深度5m以内程度の浅井戸で測定可能(現在深井戸用を開発中)
- 従来の地下水流向流速計のおよそ50分の1~100分の1の価格